

SABO NEWS LETTER

第 57 号【発行日】平成 14 年 10 月 11 日（金）【発行】（社）全国治水砂防協会

目 次

- 1 . 目次 , 当面の行事予定 1
- 2 . 国土交通省砂防部長よりご挨拶 2
- 3 . 国土交通省砂防部組織概要・配置図(10/1 現在) 4
- 4 . 意見募集 - 安全で美しい国土づくりに向けて - 6
- 5 . 平成 14 年における土砂災害の概要 (10/4 現在) 7
- 6 . 災害関連緊急対策事業の採択状況 (9/30 現在) 8
- 7 . 「安全で活力ある 21 世紀の地域づくりのために」発刊について . . 10

当面の行事予定

平成 14 年

10/14 (月) ~ 18 (金) インタープリメント 2002

砂防行政官サミット (長野県松本市)

10/24 (木) 全国治水砂防協会理事・顧問会議 (砂防会館)

10/28 (月) 29 (火) 2002 火山砂防フォーラム (北海道虻田町)

10/31 (木) 11/1 (金) 全国治水砂防協会関東・甲地区支部長会議

(茨城県つくば市)

10/31 (木) 11/1 (金) 全国治水砂防協会北信越地区支部長会議

(長野県山ノ内町)

11/1 (金) 静岡県砂防 100 年記念式典 (静岡県静岡市)

ご質問, ご意見, ご感想, 記事の詳細内容等, お問合せ先

社団法人 全国治水砂防協会

担当 宮内, 小林, 阿部, 畑川, 藤川

住所 〒 102-0093 東京都千代田区平河町 2-7-5 砂防会館内

電話 03-3261-8386 FAX 03-3261-5449 E-mail : kyokai@sabo.or.jp

砂防に関する最新情報は砂防協会ホームページをご覧ください

<http://www.sabo.or.jp/>

皆様へ

砂防部長

岡本 正男

① 元気なイタリアの市長さん

1983年、10月、イタリア北部 ロンガローネ市にあるバイヨントダム (高さ262m) のダム湖斜面で大規模地すべりが発生。その地すべり土塊がダム湖に突入し、殺波を発生。その水がダムをオーバーフローし下流に大災害を起しました。悲惨な災害を忘れないために、40年を節目にセクターを市が作ることにになり、日伊土砂災害防止技術会議の団長ウバルティニさんの助言で、桜島火山防災センター(大陽工事業務所)を見学し、市長が先日、部長室にもお見えになり、日伊科学技術協定による案件でベスト3に入るとの事で熱心な協力要請がありました。

セクターの中に研究所、研究所等を企画しており、日本との砂防技術協力を是非この事で、人の派遣、研究テーマ等と具体的に進む予定です。

山に囲まれた市で、砂防なくして安全・安心が確保できないとのこと。市長は、あの大災害の後、生まれこゝで若い、エネルギー的な190cmを超える長身から「災害を知らぬ、からセクターを通して住民にいつまでも記憶に残してもらいたい。私は市民の生命を守る義務がある。」と熱く語る口調に、災害から住民の命を守ることに全力を尽しておられる日本の市町村長さんの姿がタフで見えました。

来週、13日から松本市でインターナショナル2002が開催されます。ヨーロッパを中心に14ヶ国80人の外国人技術者が参加します。益々、よりワールドワイドで頑張ります。

② 砂防情報係の新設

10月1日から砂防情報係を新たに設置しました。「土石災害防止法」をはじめとして、倉庫警戒避難体制の整備等のソフト対策の推進が重要となります。砂防の情報に関するシステムソフトの整備と土石災害相互通報情報システム整備事業などの事業の推進によりソフトに努めてまいります。

③ 忘れなごころ砂防の知識……牧野富太郎博士

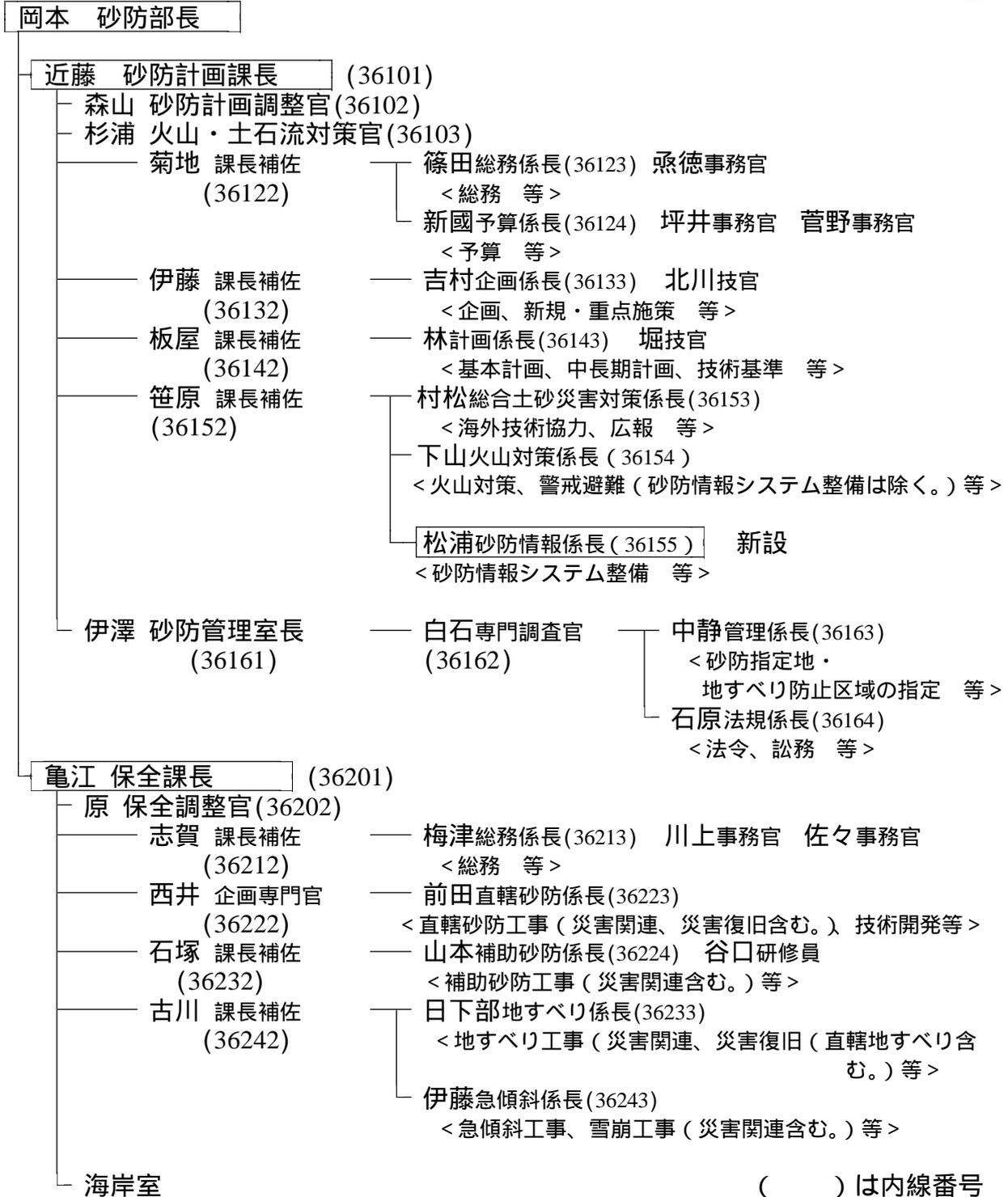
明治35年11月に神戸市が六甲山の緑化のために植林事業を始めて今年が100年目です。詳しくは「砂防と治水」の最新号、NO.147、2002.8をお読み下さい。「砂防と治水」にも書いてありましたが、六甲山と言えば、
 牧野富太郎博士です。原文を見つけて調べてもらいました。最終的には
 東大の図書館にありました。昭和45年4月に出版された牧野富太郎
 選集Ⅱ（牧野博士が生涯書き続けた「植物隨筆」をベースに娘の牧野鶴代
 さんがまとめた）の目次に「思い出のおまけ」の小目次「東京への初旅」の中の
 「私は瀬戸内海の海上から六甲山の禿山を見てびっくりした。はじめは
 雪が積もっているのかと思っ、土佐の山に禿山など一つもないからで
 あった。」という文章である。明治14年4月、郷里高知県佐川をあとに
 蒸気船で神戸に着いた時のことである。
 (1862~1957)
 (1970年)

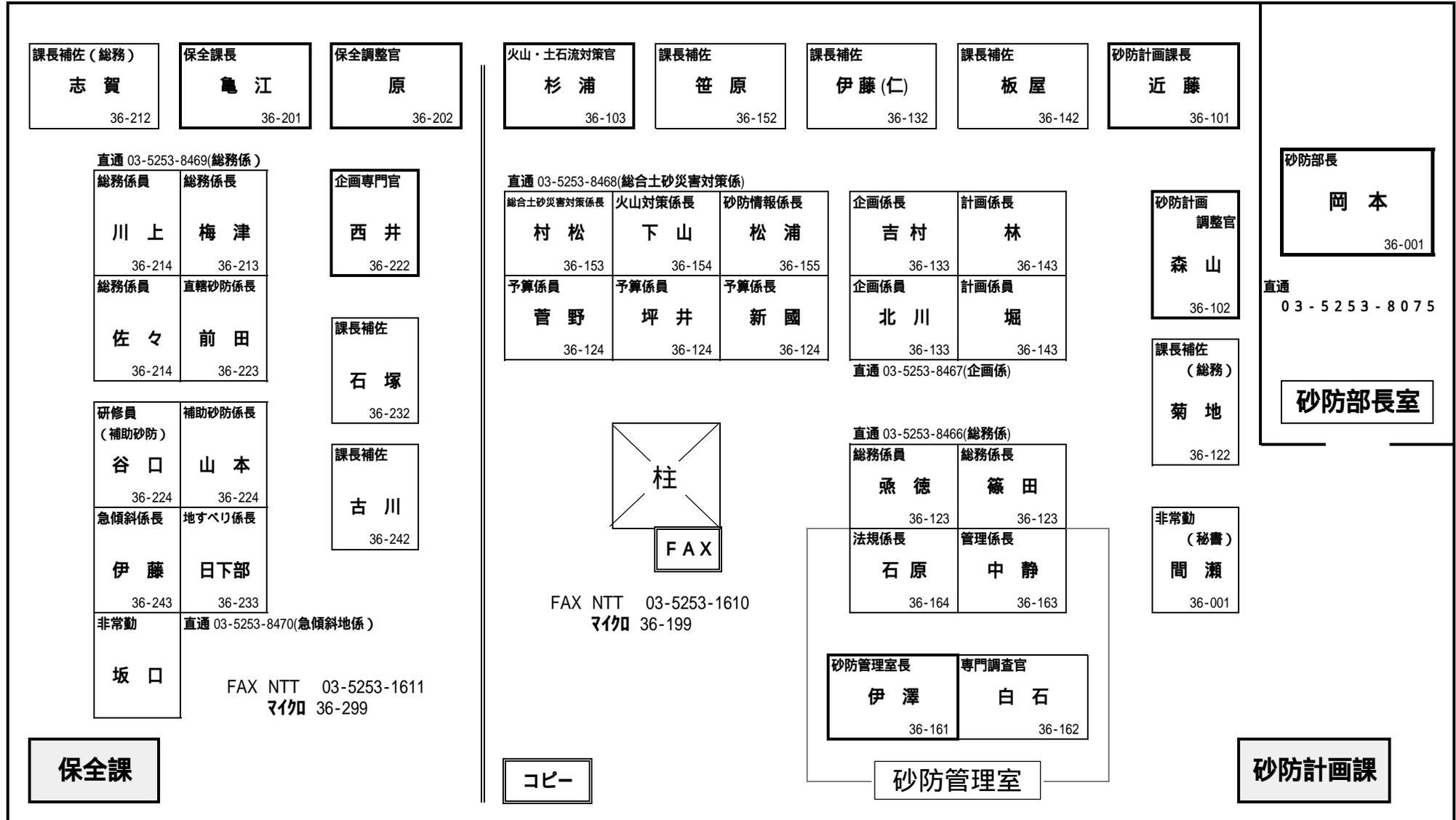
砂防の先輩であろうか？ この文章を見つけたのは、砂防と植物は切っても切れない関係である。

よりフリーに砂防を進めます。

国土交通省砂防部組織概要

H14.10.1 現在





入口

入口

記者発表資料

意見募集

安全で美しい国土づくりに向けて

～ 21世紀型土砂災害対策の推進～

[21世紀の土砂災害対策を考える懇談会 - 中間報告 -]

平成14年9月25日
国土交通省

国土交通省では、本年4月より学識経験者や一般有識者で構成される「21世紀の土砂災害対策を考える懇談会」を開催し、21世紀における土砂災害対策のあり方等について議論を行っているところです。このたび、これまでの4回の懇談会における議論を経て、「中間報告」がまとまりました。

つきましては、21世紀の土砂災害対策のあり方等について、国民からの意見を反映させるため、当懇談会における「中間報告」について、下記により幅広く意見を募集します。

記

1. 募集期間

平成14年9月25日(水)～10月17日(木)

2. 対象資料

安全で美しい国土づくりに向けて

～ 21世紀型土砂災害対策の推進～ 中間報告

中間報告及び意見募集については、下記インターネットのホームページよりご覧いただけます。

http://www.mlit.go.jp/kisha/boshu/boshu33_.html

3. 意見提出方法

以下のいずれかの方法でご意見を日本語で送付してください。書式は自由ですが、氏名・年齢・性別・職業・住所(市区町村までで結構です。)等についてお知らせ下さい。(匿名希望の方は、その旨をお書き下さい。)

なお、電話によるご意見の受付には対応できませんので、あらかじめご了承下さい。

郵 送：〒100-8918

東京都千代田区霞が関2-1-3

国土交通省河川局砂防部砂防計画課

「21世紀の土砂災害対策を考える懇談会」事務局

FAX：03-5253-1610

e-mail：sabo-21@mlit.go.jp

4. その他

皆様から頂きましたご意見につきましては、今後の政策の検討の参考とさせていただきます。なお、頂いたご意見に対しての個別の回答はいたしかねること、また、いただいたご意見は後日、懇談会などにおいて公開することがありますので、あらかじめご承知おき下さい。

- 問い合わせ先 -

国土交通省河川局砂防部砂防計画課

課長補佐 板屋英治(内36142)

TEL 03-5253-8111(代表) 03-5253-8467(直通)

平成14年における土砂災害の概要

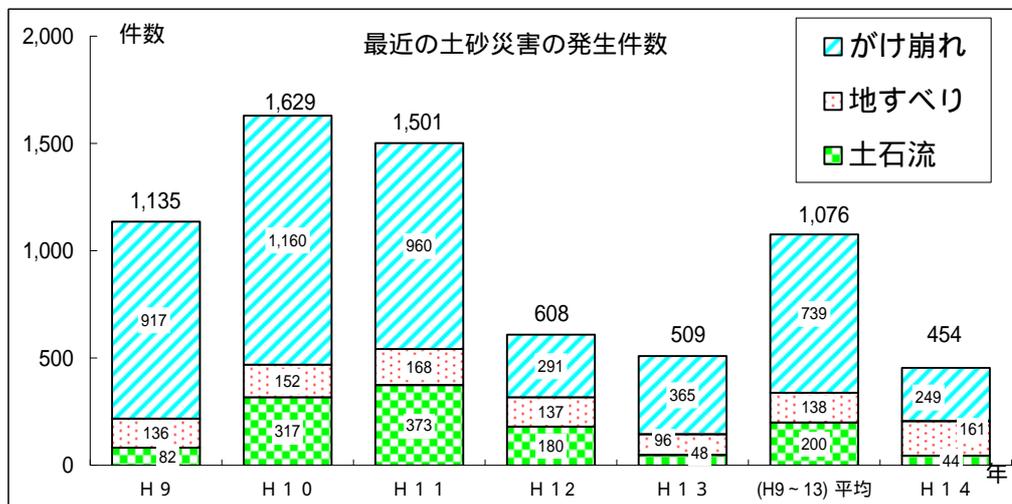
国土交通省砂防部保全課

平成14年10月4日 現在

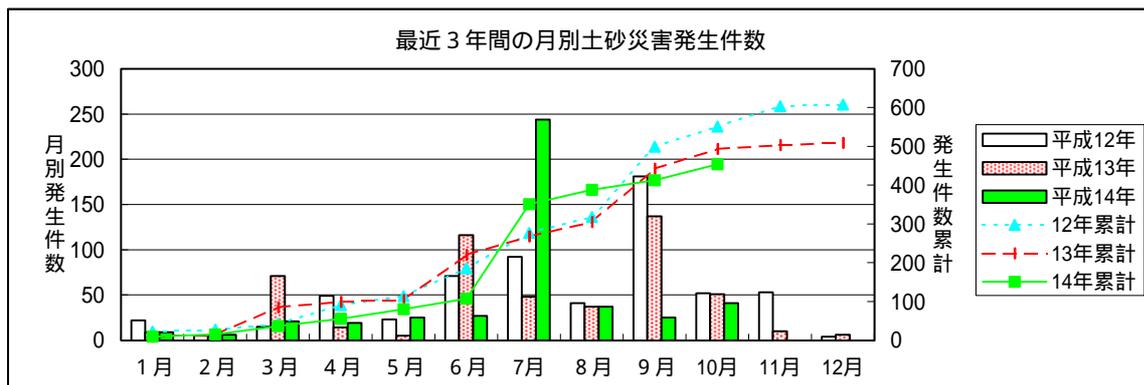
平成14年は 全国 42都道府県で 454件（土石流 44件、地すべり161件、がけ崩れ 249件）の土砂災害が発生している。

被害状況のうち人的被害については死者4名（岩手県釜石市2名、広島県呉市1名、佐賀県伊万里市1名）である。

（参考1）H14土砂災害と過去5ヶ年発生件数との比較



（参考2）最近3年間の月別土砂災害発生件数



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年計
平成12年	22	5	15	49	23	71	92	41	181	52	53	4	608
平成13年	9	5	71	14	5	116	48	37	137	51	10	6	509
平成14年	9	6	21	19	25	27	244	37	25	41	0	0	454

災害関連緊急対策事業の採択状況

平成14年9月30日現在

平成14年 直轄河川等砂防災害復旧事業 採択箇所

No.	発生		災害発生箇所				災害発生箇所					備考
	月	日	都道府県	郡・市	町・村	字	級	水系名	幹川名	溪流名	施設名	
1	7	10	栃木県	今市市		大谷向	1	利根川	鬼怒川	大谷川	今市下流流路工	
2	7	10	石川県	石川郡	白峰村	白峰	1	手取川	牛首川	牛首川	甚之助谷第26号B えん堤	
3	7	10	新潟県	南魚沼郡	湯沢町	中子	1	信濃川	魚野川	魚野川	魚野川流路工	

平成14年 直轄砂防災害関連緊急事業 採択箇所

No.	発生		災害発生箇所				災害発生溪流				備考
	月	日	都道府県	郡・市	町・村	字	級	水系名	幹川名	溪流名	
1	7	10	岐阜県	揖斐郡	藤橋村	東横山	1	木曽川	揖斐川左支溪	木尾谷	

平成14年 災害関連緊急砂防対策事業 採択箇所

No.	発生		災害発生箇所				災害発生溪流				備考
	月	日	都道府県	郡・市	町・村	字	級	水系名	幹川名	溪流名	
1	3	19	兵庫県	宝塚市	切畑	長尾山					山林火災
2	7	10	岐阜県	郡上郡	大和町	河辺	他	木曽川	長良川	井寺洞谷	
3	7	10	岐阜県	郡上郡	大和町	島	他	木曽川	長良川	西根谷	
4	7	10	岐阜県	郡上郡	八幡町	稲成	他	木曽川	長良川	柘形谷	
5	7	10	岐阜県	郡上郡	八幡町	那比	他	木曽川	那比川	抜ヶ洞	
6	7	10	岐阜県	郡上郡	八幡町	小那比	他	木曽川	小那比川	河内谷	
7	7	11	岩手県	釜石市		松原町	2	甲子川	甲子川	松原の沢	
8	7	11	岩手県	釜石市		駒木町	2	甲子川	甲子川	駒木の沢(2)	
9	7	11	山形県	寒河江市		白岩	1	最上川	寒河江川	地福田沢	
10	7	16	山形県	鶴岡市		金沢	他			清佐エ門沢	
11	7	11	福島県	南会津郡	下郷町	小沼崎	1	阿賀野川	阿賀川	唐沢2号	
12	7	11	栃木県	阿蘇郡	田沼町	長谷場	他	利根川	旗川	上清水沢	
13	7	15	新潟県	佐渡郡	相川町	濁川町	2	濁川	濁川	茶ノ助沢	
14	7	17	三重県	員弁郡	藤原町	大貝戸	2	員弁川	真名川	西之貝戸川	
15	7	17	三重県	員弁郡	藤原町	坂本	2	員弁川	真名川	小滝川	
16	7	11	福井県	勝山市	北谷町	木根橋	1	九頭竜川	九頭竜川	滝波川	

平成14年 災害関連緊急地すべり対策事業 採択箇所

NO	発生日		県名	所在地					備考	
	月	日		郡市	町村	大字	読み	箇所名		読み
1	3	11	山形県	南陽市		金山	かねやま	板宮	いたみや	
2	3	12	山形県	西村山郡	朝日町	大谷	おおや	仲丸	なかまる	
3	3	19	秋田県	北秋田郡	森吉町	小又	こまた	下前田	しもまえだ	
4	4	9	新潟県	新井市		長沢	ながさわ	中栗	なかぐり	
5	4	9	富山県	上新川郡	大沢野	寺津	てらつ	横平	よこひら	
6	4	15	新潟県	東頸城郡	浦川原村	谷	たに	細入	ほそいり	
7	4	18	長野県	北安曇郡	小谷村	城	じょう	城	じょう	
8	4	18	新潟県	北魚沼郡	入広瀬村	芋鞘新田	いもざやしんでん	芋鞘新田	いもざやしんでん	
9	5	30	鹿児島県	鹿児島郡	十島村	中之島サツダ	なかのしまさつだ	中之島	なかのしま	
10	7	11	静岡県	掛川市		上西郷	かみさいごう	滝之谷川	たきのやがわ	
11	7	10	群馬県	吾妻郡	中之条町	宇原野	うはらの	宇原野	うはらの	
12	7	10	群馬県	利根郡	新治村	新巻	あらまき	鍛冶窪	かじくぼ	
13	7	11	茨城県	久慈郡	金砂郷町	赤土	あかつち	前原	まえはら	
14	7	15	新潟県	佐渡郡	相川町	小六町・大間町	ころくちょう・おおまちょう	長坂	ながさか	
15	7	15	富山県	氷見市		懸札	かけふだ	懸札	かけふだ	
16	7	16	富山県	氷見市		三尾	みお	三尾	みお	
17	7	10	山梨県	南巨摩郡	身延町	和田	わだ	和田	わだ	
18	7	11	奈良県	吉野郡	天川村	広瀬	ひろせ	広瀬	ひろせ	
19	7	11	長野県	北安曇郡	池田町	豊盛	ほうせい	豊盛	ほうせい	
20	7	11	栃木県	栃木市	鍋山町			山際	やまぎわ	
21	7	16	山形県	最上郡	鮭川村	川口	かわぐち	上絵馬河	かみえまか	
22	7	16	長野県	東筑摩郡	明科町	柏尾	かしお	柏尾	かしお	
23	7	16	山形県	東置賜郡	川西町	玉庭	たまにわ	高野沢	こうやさわ	

平成14年 災害関連緊急急傾斜地崩壊対策事業 採択箇所

No	発生日		都道府県	市・郡	区・町・村	箇所	備考
	月	日					
1	3	22	山形県	西田川郡	温海町	山ノ下	
2	3	27	山形県	最上郡	真室川町	新町	
3	5	3	長崎県	長崎市		江川(3)	
4	6	30	熊本県	牛深市		鬼塚(1)	
5	7	3	岐阜県	郡上郡	大和町	東内戸	
6	7	10	静岡県	静岡市		大岩芝欠	
7	7	11	神奈川県	秦野市		平沢小原	
8	7	11	山形県	寒河江市		白岩	
9	7	15	沖縄県	国頭郡		伊豆見	
10	7	16	新潟県	佐渡郡	佐和田町	上町	
11	7	11	岩手県	一関市		釣山	
12	7	10	山梨県	大月市	笹子町	吉久保	
13	7	16	山梨県	南巨摩郡	早川町	清岡	
14	7	11	宮城県	玉造郡	岩出山町	天王寺の1	
15	7	11	宮城県	桃生郡	河南町	山根の2	
16	7	11	宮城県	仙台市	青葉区	北根の1	

平成14年 災害関連緊急雪崩対策事業 採択箇所

No	発生日		都道府県	市・郡	区・町・村	箇所	備考
	月	日					
1	3	12	長野県	南安曇郡	安曇町	白骨	

安全で活力ある21世紀の地域づくりのために**- 平成15年度 砂防関係新規・重点事業 -****発刊のご案内について**

このたび、当協会では、平成15年度砂防関係新規・重点事業に関する、パンフレットを作成しました。砂防事業の最新の動向をつかむとともに、日常業務の中で手軽に利用できるガイドブックとしてご活用下さい。

なお、頒布・申し込みにつきましては、下記をご参照下さい。

〔主な内容〕**1. あいつぐ土砂災害**

- (1) 土砂災害は日本の宿命
- (2) 近年発生した土砂災害
- (3) 効果を発揮する砂防施設
- (4) 地域住民と行政との連携による早期発見で人的被害ゼロ
- (5) 前兆現象察知による自主避難で人的被害ゼロ

2. 平成15年度新規事業 / 重点事業**「安全で活力ある地域づくり」を目指して**

- (1) 火山地域における土砂災害対策の推進
- (2) 根幹的な土砂災害対策の推進
- (3) 土砂災害発生地域の緊急防災対策の推進
- (4) 災害弱者対策の推進
- (5) 活力ある地域づくりの支援
- (6) 緑の砂防 (自然共生型砂防事業の推進)
- (7) 流砂系の総合土砂管理による国土保全の推進
- (8) ハード・ソフト一体となった総合的な土砂災害防止対策の展開

効率的かつ効果的な事業

- (9) 連携施策の推進
- (10) 事業の客観性・透明性の確保
- (11) 融資制度
- (12) 新技術・新工法

国際技術協力

- (13) 国際技術協力

3. 長期計画の見直しについて

- (1) 国土交通省としての取り組み
- (2) 治水・急傾斜地崩壊対策から見た国土交通社会資本整備重点計画(仮称)の策定

参考資料

平成15年度砂防関係事業概算要求

〔体裁〕 A4版 36頁 モノクロ印刷

〔価格〕 1,000円(税込)(送料1部135円 5冊以上は当協会が負担します。)

申し込み 問い合わせ) 下記までFAXまたはメールにて

社団法人 全国治水砂防協会

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-7-5

TEL 03(3261)8386 FAX 03(3261)5449 メールアドレス kyokai@sabo.or.jp